

グローバルスタディーズプログラム実施報告 ―英語で挑む SDGs と課題解決の 5 日間―

夏季休業期間中の 8 月 5 日（火）～9 日（土）の 5 日間、本校ミーティングルームにて「グローバルスタディーズプログラム」を実施いたしました。本プログラムは、海外の難関大学等に在籍する多様な国籍のグループリーダーを招き、「全行程を英語のみ」で進行する集中型のワークショップです。今年度は、持続可能な開発目標（SDGs）をメインテーマに据え、熱気あふれる議論が展開されました。

プログラムの特色：英語で「考え、発信する」

生徒たちは数名のグループに分かれ、担当リーダーの母国が直面しているリアルな社会課題について学びました。

- **ディスカッション：**異なる背景を持つリーダーとの対話を通じて、日本では気づきにくい課題の本質を探りました。
- **ソリューションの考案：**課題解決に向けたアイデアを英語で練り上げ、論理的なプレゼンテーションへと昇華させました。

5 日間の成長：葛藤から自信へ

初日はリーダーの英語スピードに圧倒され、戸惑う表情を見せる生徒も少なくありませんでした。しかし、グループワークを重ねるうちに、「伝えたい」という気持ちが言語の壁を越え、徐々に活発な意見交換が行われるようになりました。

最終日のプレゼンテーションでは、全員がステージに立ち、5 日間の集大成を披露。鋭い質疑応答に対しても、自らの言葉で最後まで粘り強く答える姿に、5 日間での確かな成長とグローバルリーダーとしての可能性を感じました。

